

第 4 2 号

発行日：令和2年3月1日

発行者：大野南地区交通安全母の会

事務局：南区相模大野5-31-1

大野南まちづくりセンター内

電 話：042-749-2217

おおのみなみ
交通安全母の会
だより



大野南地区交通安全母の会は
こんな活動をしています

新入学児へのマスコット配布



交通安全の願いを込めてマスコットを作成し、入学式の日に入学者児童に手渡しています。

ポスター・標語の募集



「交通安全を呼びかけるポスター・標語」を学校の夏休みの宿題の自由課題の一つとして募集し、入賞した作品の表彰式を行っています。

高齢者セーフティアドバイス



地区内の高齢者の方が集まっているサロンに相模原南警察署員と訪問し、交通安全のお話をさせていただいています。

キャンペーン活動



警察と連携し各季に行われる交通安全運動キャンペーン等に参加をしています。

他 団 体 へ の 協 力

地区内の団体が開催するイベントにおいて、自転車整理や、運営等にも関わり、積極的に活動をしています。

「交通安全を呼びかけるポスター・標語の募集」入賞者決まる！！

毎年夏休み恒例の「交通安全を呼びかけるポスター・標語の募集」、今年度はポスターと標語を合わせて355点の作品の応募がありました。

たくさんの優秀な作品の中より、厳正な審査の結果、ポスター18作品、標語18作品の合わせて36作品が入賞しました。

入賞作品は表彰式のあと、南区役所ロビー、上鶴間公民館、相模原南警察署に順次展示されました。

また、金賞の作品はポスターにして自治会の掲示板などに掲示し、交通安全を呼びかけています。



11月23日の表彰式にて



金 賞 受 賞 作 品



鶴の台小1年 田口 遥斗



谷口台小4年 外丸 実夢



鶴の台小2年 横山 杏奈



谷口台小3年 齊藤 雅姫



鹿島台小5年 種市 史穂



鶴園小6年 目黒 唯花

てをつなごう わたしのいもうと うちがわに
鶴園小1年 文岩 明梨

横だん歩道 目と目であいさつ 事故へらそう
鶴園小4年 新田 蒼介

あんぜんは 目から耳から 心から
鶴の台小2年 野原 陽茉莉

止まるだろう 行けるだろうが 事故のもと
鹿島台小5年 藤原 心愛

赤信号 しっかり止まって 安全チャージ
鹿島台小3年 大城 結夢

帰宅する 無事であること 親孝行
谷口小6年 田中 充生

各支部の活動

交通安全教室開催

●谷口支部●

谷口支部では毎年3月に、相模原南警察署の交通課の皆さまと、ヤマト運輸の方々に御協力いただき交通安全教室を開催しています。

新一年生を対象としておりますが、その他たくさんのおともたちに参加していただき、交通安全について学んでいただいております。

昨年度は、交通課の方から横断歩道の渡り方を教えていただき実際に体験しました。

また、ヤマト運輸さんのトラックを使用して、車両の「死角」についても実際に見て学ぶことができました。運転席に座らせていただき、運転手さんが「見えなくなる場所」を体験しました。

ご家庭でも交通安全についてお話することはあるかと思いますが、直接警察署の方から教えていただくことは大変貴重です。

一緒に来られていた保護者の方も改めて子どもたちの交通安全について確認ができたのではないかと思います。

普段通っている道路で車や自転車を運転する大人たちも今一度交通安全について見直したいものです。

大切な子どもたちは地域全体で守れるようになればいいなと思う1日でした。



反射シールで交通安全

●中和田支部●

中和田支部では、青色パトロールへの参加や夏祭りでの交通整理、子ども達への啓発グッズの配布を行い、地域の交通安全のための活動を行っています。

今回は、12月7日(土)鶴園小学校体育館で開催された、中和田子ども会クリスマス会での交通安全啓発グッズの配布活動を紹介致します。

当日は約250名の参加がありました。大変賑やかで楽しいクリスマス会終了後の配布ということもあり、スマイルマークの反射シールを配ると「可愛い!」「やったー、シールだ!」と声を上げて喜んで受け取ってくれました。

日が暮れるのも早くなり、放課後に遊びに行った子供達の帰りが心配な季節となりました。

ランドセル・自転車・バッグなどに貼ると、反射シールなので暗闇の中に車や自転車へ自分の位置を教える事が出来ます。

中和田支部は国道16号沿いから境川沿いにあり、町田への抜け道のため、交通量の多い道路もあります。

たかが反射シール、されど反射シール。保護者の方の心配が少しでも軽減するお手伝いになればと思います。



地域の安全、安心を祈って

大野南地区交通安全母の会
会長 渋谷 雅子



日頃より、各団体をはじめ地域の皆様には交通安全母の会の活動にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

年々交通事故は減少しているようですが、まだまだ理不尽な事故や防ぎようの無い事故も多くあります。

そのような中でも、もしあの時止まっていれば、あるいは意識して減速していればもしかしたら防げた事故が多くあるように思います。

私共は「交通安全は家庭から」をスローガンに、一人でも多くの方が意識する事によって少しでも悲しい事故が無くなる様に日々交通安全啓発活動に取り組んでいます。

各種パトロールやキャンペーンの参加に加え、夏に「交通安全を呼びかけるポスター・標語の募集」を行っています。

ポスターの金賞受賞作品は3年前から掲示用のポスターにして地域の掲示板等に貼らせていただいています。今年はそちらに標語金賞受賞作品も一緒に掲載しております。

これからも交通事故が無くなるように願いながら活動させていただきますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

交通事故はひとつではない

神奈川県相模原南警察署
署長 小野 正男



大野南地区交通安全母の会の皆様には、日頃から「交通安全は家庭から」を旗印に、児童の見守り活動や各種啓発活動等に取り組んで頂いており、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、皆様のご尽力により交通事故の発生件数・負傷者数ともに一昨年より減少することができました。

しかしながら、死亡事故に関しましては3件発生し、このうち大野南地区では6月に乗用車とタクシーの正面衝突の事故で尊い命が失われております。

また自転車の事故も減少せず、発生件数の多さでは県内54警察署中ワースト3位という結果になっております。

今年はオリンピックが開催され、国を挙げての行事が目白押しですが、警察といたしましては悲惨な交通事故を1件でも減らすため、皆様と心をつなげて「事故はひとつではない」と心掛けてもらえるよう、全力で取り組んでまいりますので引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。